

ISTANBUL

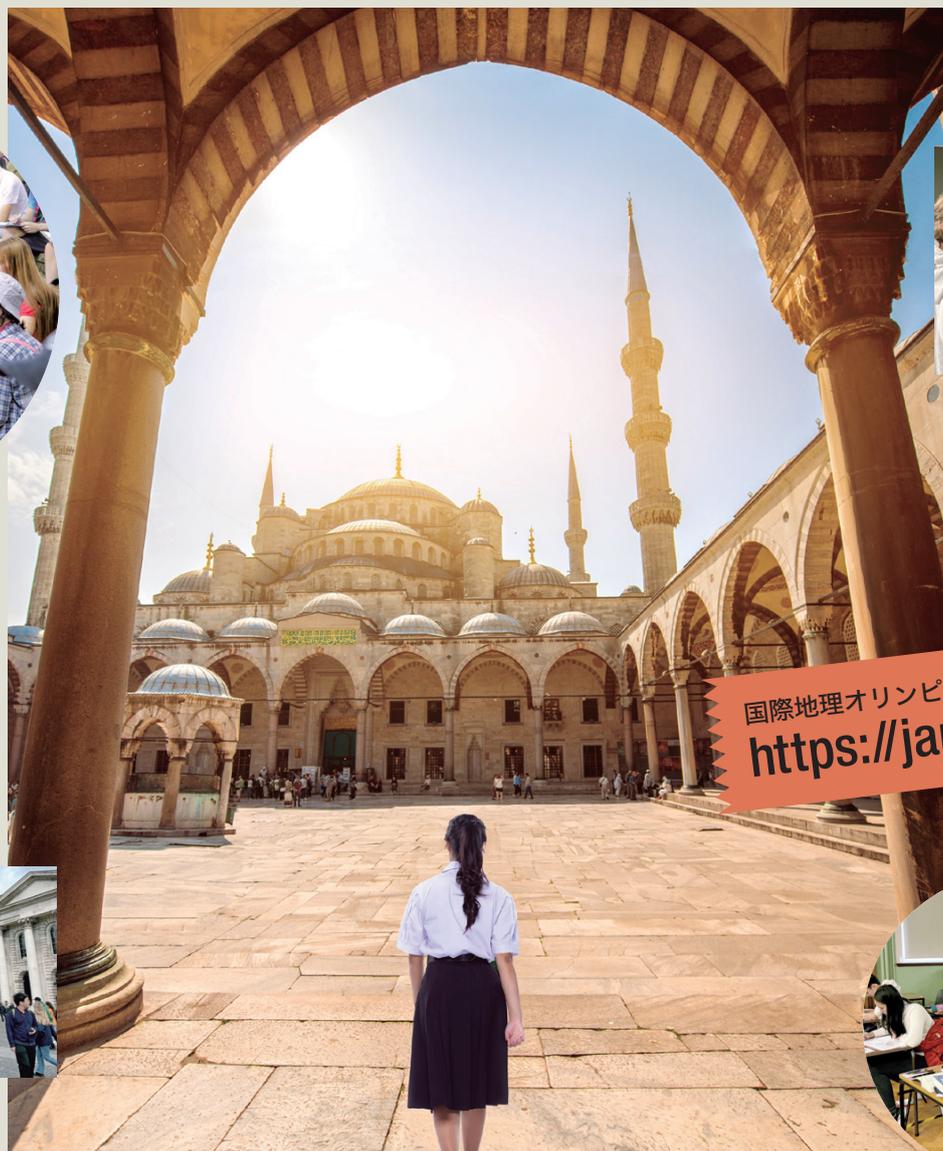
国際地理オリンピックに ようこそ!

[第20回]

科学地理オリンピック
日本選手権

[第22回]

国際地理オリンピック
日本代表選抜大会



国際地理オリンピック日本委員会公式サイト
<https://japan-igeo.com/>

主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、立命館地理学会、公益社団法人 東京地学協会、
一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、日本地図学会、一般社団法人 地理情報システム学会、経済地理学会、地域地理学会

協賛：帝国書院、山川出版社、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル シオグラフィック、スポーツショップクラブライフ湘南

国際地理オリンピックは 「地理力」競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU（国際地理学連合）の総会（プラハ：チェコ）で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、20回の世界大会と3回の地域大会（アジア・太平洋地域）が行われました。そして2026年にはイスタンブール（トルコ）で第22回国際地理オリンピックiGeo Istanbul 2026が行われます。

国際地理オリンピック（世界大会）

第1回大会	1996年	ハーグ：オランダ
第2回大会	1998年	リスボン：ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル：韓国
第4回大会	2002年	ダーバン：南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グティニア：ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン：オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ：チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ：台湾
第9回大会	2012年	ケルン：ドイツ
第10回大会	2013年	京都：日本
第11回大会	2014年	クラクフ：ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ：ロシア
第13回大会	2016年	北京：中国
第14回大会	2017年	ペオグラード：セルビア
第15回大会	2018年	ケベック：カナダ
第16回大会	2019年	香港：中国
第17回大会	2020年	イスタンブール：トルコ（中止）
第17回大会	2021年	イスタンブール：トルコ（オンライン開催）
第18回大会	2022年	パリ：フランス（オンライン開催）
第19回大会	2023年	バンドン：インドネシア
第20回大会	2024年	ダブリン：アイルランド
第21回大会	2025年	バンコク：タイ

地域地理オリンピック（地域大会）

第1回大会	2007年	シンチュー：台湾
第2回大会	2009年	つくば：日本
第3回大会	2011年	メリダ：メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な事象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト(MMT)

地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な事象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークエクセサイズ(FWE)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な事象や地域のようす、観察した景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック（世界大会）ではすべて英語で出題され、英語での解答が必要です。（辞書の持ち込みは可）そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも大切な目的の一つです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」ならではの国際理解です。



◆ 募集要項

参加資格

2025年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手(4名)は、2026年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、第1次・第2次選抜試験までの国内大会には参加できませんが、世界大会代表の選抜対象にはなりません。

選抜について

■ 第1次選抜 2025年12月13日(土)

会場：オンライン受験のため会場は設けません。

方法：マルチメディアテスト

スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は50分です。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

受験上の注意：第1次選抜では、配信された問題を見て、オンラインで解答する方法をとります。

詳細は受験票に掲載します。スマートフォンでも受験可能ですが、問題の性質上、比較的画面の大きいタブレットもしくはPCを使って受験することをお勧めします。本委員会では機器の貸し出し等は致しません。なお、学校管理者の了承があり、担当の先生が責任を持って試験を実施していただける場合は、学校のコンピュータ教室等で受験することも可能です。担当の先生に問い合わせてください。

■ 第2次選抜 2026年2月15日(日)

会場：東京・大阪など全国9カ所程度を予定。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。感染症の拡大など、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。

方法：記述式テスト

地図・資料などの読解を中心とした記述式テスト。問題の約2割は英語による出題で、辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は120分です。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績上位(約10名)が第3次選抜試験に進むことができます。(世界大会出場資格がない者は3次選抜試験の対象になりません。)テストの結果は、後日、個人宛てに通知します。

■ 第3次選抜 2026年3月7日(土)・8日(日)

会場：関東地方で実施予定。

感染症の拡大など、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。

内容：フィールドワークエクセサイズ・グループディスカッション

フィールドワークエクセサイズ：フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。グループディスカッション：地理に関連したテーマについて議論。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2026年8月(予定)にイスタンブール(トルコ)で開催予定の第22回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題の一部は、国際地理オリンピック日本委員会のWebページ(<https://japan-igeo.com>)で閲覧することができます。

『地理オリンピックへの招待・第2版—公式ガイドブック・問題集—』(古今書院)も参考にしてください。

参加申込みについて

申込期間：2025年9月1日(月)
～11月15日(土)23:59まで

申込み方法：WEBエントリー

申込み専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)からWEBでエントリーします。個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」があります。なお、いずれの場合も応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを忘れないようにお願いします。

「個人申込み」

申込み専用ページから各自WEBエントリーしてください。

「学校申込み」

学校で一括して申し込むことができます。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

担当する先生がWEB申込専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)にアクセスし、参加者情報入力シートに記入の上、アップロードしてください。なお、学校のコンピュータ教室等でまとめて受験させる場合で、会場の使用許可が必要な場合は事務局にお申し出ください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、コンピュータ等の機材や通信費等は受験者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学の

総合選抜型入試(AO入試)等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を、特別入試の対象としている大学があります。

【受験に際しての注意事項】

- 第1次選抜はComputer Based Testing (CBT、コンピュータとインターネットを用いた試験形式)ですが、あくまでも通常の試験会場で行われる試験と同様の条件で行われます。
- 自身の周辺に置いて良いものは、計算用紙、鉛筆がシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、紙媒体の英和・和英辞典です。
- 解答時に参考となる教科書・参考書・辞書類の使用は認められません。問題の解答を他者に相談・聞くなど、他の人に助けを求める行いも禁止です。
- 試験中にWebを通じた検索や、試験中でのSNSを介した他者との連絡など、インターネットを本来の試験の意図から外れて使用することは不正行為となります。
- 受験上の不正行為が発覚した場合、第19回科学地理オリンピック日本選手権の参加資格・権利の全てを失います。
- 試験開始にあたり、不正防止に関する宣誓をして頂きます。
- なお、第2次選抜、第3次選抜がオンラインで行われる場合も同様です。

WEB申し込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申し込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ

- TEL 042-646-6220 (平日12:00～13:00 / 17:00～19:00)
- E-mail info@contest-kyotsu.com

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会(以下、「主催者」といふ)が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」においては、参加申込みの際に提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権

および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供するにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報をご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。国際地理オリンピック日本委員会実行委員会

実行委員長 井田 仁康
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
事務局局長 滝沢 由美子

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

公益社団法人 日本地理学会 事務局 気付

国際地理オリンピック日本委員会 事務局

E-mail: geolympiad@ajg.or.jp



第22回 国際地理オリンピック iGeo Istanbul 2026

会期 2026年8月(予定)
会場 イスタンブール(トルコ)およびその周辺

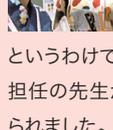


「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことはありません。
世界では女子選手が活躍しています。
世界大会出場のOG2人と引率教員2人が、
オンラインで国際地理オリンピック大会について語り合いました。

飯田 菜未さん(茨城県立土浦第一高等学校出身、東京大学卒、プラントエンジニアリング業界の事務系総合職、2019年香港大会出場)
平賀 美沙さん(桜蔭高等学校出身、東京大学卒・同大学院修了、会社員として活躍中、2013年京都大会出場)
井上 明日香先生(神奈川県立希望ヶ丘高等学校教諭、2019年香港大会ほか引率教員)
林 靖子先生(獨協埼玉中学高等学校教諭、2021年イスタンブール大会(オンライン開催)ほか引率教員)



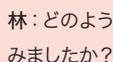
林: はじめに、飯田さんと平賀さんが、国内選考を受験したきっかけを教えてくださいませんか？



飯田: もともと地理がすごく好きというわけではなかったのですが、高校の時の担任の先生が地理の先生で、その先生に薦められました。



平賀: 高校の地理の授業が面白くて、それで自分でいろいろ勉強をしているうちに、この大会のことを知り受験しました。



林: どのような対策をして国内・世界大会に臨みましたか？

飯田: 地理の問題集や日々の授業を大事にしていました。世界大会に向けては、強化研修会で多くを学びました。



平賀: 私は理系ですが、地理の大学入試問題を解くほかに、図書室で地形図や都市地理学の本など、フィールドワークに活かせるようなものを借りて読んでいました。世界大会に向けては、英語の単語を自分でまとめたり、強化研修会でいただいた本を読んだりしていました。

林: 世界大会では、他国の女子選手とどのような交流がありましたか？

飯田: 大会中、香港とルーマニアの選手と相部屋で、お土産の交換をしました。

平賀: 私は台湾の選手と同室でした。お互いメダルを獲得して、抱き合って喜んだ思い出があります。シンガポールの選手とは、大会後、私がシンガポールに行った時に案内をしてくれて、彼女が日本に来た時は、私が案内をしました。

平賀: 大学では土木学科に入り、授業の中で地形図をみて歴史を考えるといったことが求められましたが、地理オリンピックのおかげで、私はそれが得意な方で良かったです。また、旅行に行っても、この道は昔からあるのかなど、今見えているものの背景を考えながら歩くことができ、その基礎は地理オリンピックを通して学んだことにあると思います。

井上: やったことが活きているのは、私たちスタッフも嬉しいですね。



林: 最後に、これから地理オリンピックを受験しようとしている女子中高生へメッセージをお願いします。

飯田: 地理に限らず科学オリンピックは、男子が多いイメージかもしれませんが、気負わずに受けてほしいなって思います。世界大会に行くと、4人中全員女子という国もあるので、皆さんにチャレンジしてもらいたいです。女子ならではの視点というのも、大事だと思います。

平賀: 気軽に楽しく受けて良いと思います。代表にならなくても、試験を通して身につけたことをいかして、地理をいかした仕事に携わる人が増えるといいなと思います。

井上: 性別に関係なく興味を持ったら受験してほしいですね。



テストの様子 (ダブリン・バンドン大会より)



記述式テスト



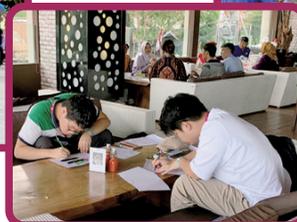
国際大会では英語で解答します



フィールドワークエクササイズ



現地での景観観察



観察事項をまとめる



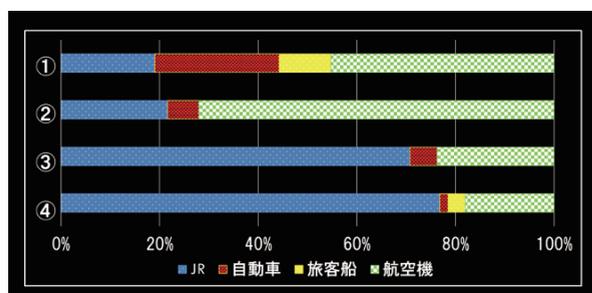
現地での課題説明

科学地理オリンピック (国際地理オリンピック) の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

マルチメディアテスト (MMT)

第1次選抜試験 問題例

次の表は、大阪と東京、大阪と新潟、大阪と愛媛、大阪と福岡間の輸送機関別旅客輸送量の割合を示している(2022年度)。大阪と福岡間はどれか。



解説・解答

旅客移動においてどの交通手段を選択するかを考えさせる。一般に、移動距離が長いほうから航空機、鉄道、自動車となる。また、海を隔てた場合は旅客船(フェリー)を使うこともある。③と④はJRが多いことから新幹線で結ばれた地域間で、つまり大阪-東京か大阪-福岡のいずれかとなる。大阪-福岡は瀬戸内海航路が想定されるので④である。

出典：旅客地域流動調査 府県間相互輸送人員表
<https://www.mlit.go.jp/k-toukei/kamoturyokakutiikiryuudoutyousa.html>より作成

記述式テスト (WRT)

第2次選抜試験 問題例

図1の登山道には木製の階段が設置されている。その理由を、図1のA-Bの2点間を結んだ直線が元の地形と考え、この場所の現状、起きている現象、階段の機能に着目して説明しなさい。

解答例

登山道の凹地状の地形は、登山者が通行した路面が雨水の流水による侵食でできた。木製の階段は流水の勢いとその侵食力を弱めて、この場所の登山道が現状よりもさらに侵食されないように設置された。



図1



2024年8月に

ダブリンで行われました！

第20回 国際地理オリンピック iGeo Dublin 2024

世界大会はテストではありません。ポスタープレゼンテーションや文化交流・エキスカージョンなど多彩なプログラムが用意されています。



エキスカージョン(ダブリン市内)



文化交流



日本代表集合写真(表彰式)



ポスタープレゼンテーション

代表選手メッセージ

※所属学年等は大会参加時のもの

「地理学」とはどんな学問でしょうか？地理学は人間と自然のかかわりを扱う学問で、物理学や地学から、政治学、経済学、社会学まで、さまざまな学問と密接に関係しています。したがって、地理を学ぶことで世界が広がる、そして地理は地球上の諸問題に立ち向かう武器となる、といえるわけです。地理オリンピックでは、学校の授業や受験勉強を土台としつつもその枠に囚われず、地理を通して世界をどう捉えるか、そして問題をどう解決するか、といったことが問われます。国際大会では国際交流も体験できます。地理に少しでも興味のある方は、ぜひ挑戦してみてください。待ち受ける問題はきっとあなたの知的好奇心を刺激し、世界を広げてくれるでしょう。

日本代表選手 石井 智樹(灘高等学校3年)

「地理学」とは、読んで字のごとく「地の秩序」を究める学問分野です。つまり、地理学とは多様化する世界の各所に見られる特徴を一般化し、理解を試みようとする学問ともいえます。今自分が住まう土地のことも、遠く海を隔てた大陸の街も、等しく一般化のメガネを通して発見できる、そんな口マン溢れるものなのです。幸いなことに、皆さん中高生はこの口マンに挑み、同じく挑む国籍を問わない数多の中高生と切磋琢磨する機会—地理オリンピックが開かれているのです。今こそ、この地理オリンピックを通して、地理という口マンに挑み、そして多様な仲間と高めあう時ではないでしょうか。

日本代表選手 佐竹 凜太郎(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校3年)

僕の最初の地理オリンピック参加のきっかけは「学校の廊下のポスターを見てなんとなく」でした。その「なんとなく」がなければ、僕は国際大会という貴重な舞台で、世界各国の優秀な選手と競い合ったり、日本とは全く違う環境で地理の知見を深めたり、大会終了後も連絡をとる友人になったりすることはありませんでした。「なんとなく」って結構いい理由だと思います。もちろん、地理オリンピックには素晴らしい問題や地理を楽しむ環境が用意されていますので、地理が好きな人には自信をもっておすすめしますが、「地理についてそこまで深く関心がない」といった人も、このポスターを読んで少しでもいいなと思ったらとりあえず参加申し込みをしてみたいかがでしょうか。参加して失うものなど何一つないですが、思わぬ収穫や出会いは得られるかもしれませんよ。

日本代表選手 井上 尚多朗(広島学院高等学校3年)

私は国際地理オリンピックに参加して多くのことを学びました。当初私は通っていた高校に貼られていた地理オリンピックのポスターを見て、地図を見るという趣味を活かせるのではないかと考え参加を決意しました。「地理オリンピックでは何をやるのだろうか?」、「どんな問題が出るのだろうか?」地理オリンピックについて右も左もわからない状態で参加しましたが、国内大会に挑んでいくうちに地理オリンピックは単なる地理の知識勝負ではなく身の回りの様々な事象を読み取り課題解決に取り組む力が問われていることに気づきました。国際大会では世界各国の選手の方々とたくさんの交流の機会を与えていただき、他では経験できないかけがえない思い出や教訓になりました。地理オリンピックを通して学んだことや普段の生活では出会えないかけがえのない出会いは私の人生の大きな糧となったと思います。地理が好きという方はもちろん「地理オリンピックって難しそう…」という方も地理オリンピックを通して多くの学びを得られるのではないのでしょうか。少しでも地理に興味があるという方はぜひ地理オリンピックに奮ってご参加ください!

日本代表選手 守田 一馬(浅野高等学校3年)

引率教員メッセージ

地理の楽しさは、行ったことのない国の地形、気候、植生、産業、文化などを学ぶことです。国際地理オリンピックでは、様々な国から多くの地理好きが集まって共に競い合います。国際交流のイベントもたくさんあり、実際に語り合い友人となることができます。地理ほど国際大会が楽しい学問もないでしょう。私も今回アイルランドに行ったことで、8月でも冷涼な気温、偏西風の影響で次々と変化する天気、イギリスの影響を受けながらも独自性も持つ食文化などを体験することができました。ぜひ地理を通して広い世界に挑戦してください。

日本代表引率教員 新 友一郎(兵庫県立加古川東高等学校)

「地理オリンピックってたくさん暗記するんでしょ?」と思っていませんか?もちろん、知っておくべき知識はありますが、広い視野と様々なスケールで世界や日本、地域に目を向け、見えている物事や事象に対して「なぜ?」と考える好奇心をもっていることが最も重要だと思います。地理オリンピックは、記述式・フィールドワーク・マルチメディアの3つのテストで、「地理的な技能と思考力」を競い合います。特にフィールドワークテストでは、その場の空気を感じながら自分の足で歩き、地図の分析や作成、データの読解などを通じて、その地域にある課題や問題点を指摘して、地理的視点から自分オリジナルの改善策を提示します。地理オリンピックで得られる様々な経験は、人生でなかなか味わうことのできない特別なものだと思います。ぜひ、地理オリンピックに挑戦してみてください。

日本代表引率教員 田中 岳人(同志社女子中学校高等学校)